

# 農事組合法人火とぼしの里いずご（三重県伊賀市）

## 組織の概要

- 水稻（主食用米）を中心に小麦、大豆、飼料用米を生産（R4年）。
- 平成25年に集落全戸で構成された生産組合を前身として法人を設立、構成員は53人（R4年）。
- 農地中間管理機構を通じた農地集積で、地域の大半の農地（45.4ha中43.6ha）の営農を担う。

## 生産概要

- 【作付面積】水稻：21.6ha、小麦：13.9ha、大豆：12.0ha、飼料用米：6.5ha（R4年）
- 水稻-小麦-大豆の2年3作体系で営農を実施。
- 小麦の品種は、コムギ萎縮病耐性のあるJA伊賀ふるさと管内の統一銘柄「タマイズミR」を栽培。
- 中山間地のため、麦についても近年ではシカによる新芽の食害が頻発。



<集落での農地の効率的利用>

## 取組のポイント

### <団地化に向けた取組>

- ブロックローテーションに係る検討会を開催し、水利の調整、主食用米からの転換、農地の集約等について協議することで、団地化を推進。

### <先進的な生産技術の導入>

- 深耕の実施や、耕うん同時畝立て播種の導入により、湿害対策を徹底するとともに、出芽・苗立ちの安定による高品質生産を図る。
- 高品質（高タンパク）麦生産に向けた穂揃期の追肥を実施。



<高品質化に向けた穂揃期追肥>

### <生産性向上に向けた機械の導入>

- スピードカルチの導入により高速・省力的な深耕・すき込みを実施することで、効率的に排水性の向上を図る。



<スピードカルチによる深耕処理>

## 取組成果

### <小麦生産の高位安定化の実現>

#### ■ 作付面積の拡大

R3：15.4ha ⇒ R4：13.9ha（ブロックローテーションによる一時的な減少）  
〔R7目標：17.0ha〕

#### ■ 団地化率の向上

R3：60.3% ⇒ R4：80.8%（20.5ポイント増）  
〔R7目標：81.9%〕

#### ■ 単収の向上

R3：239.4kg/10a ⇒ R4：282.6kg/10a（18.0%増）

[参考：伊賀市平均単収(H27～R3年度7中5平均) 215kg/10a ]

